

一般社団法人日本母性看護学会

2021 年度 社員総会 資料

<報告事項>

- | | |
|--------|------------------|
| 報告事項 1 | 2020 年度事業報告 |
| 報告事項 2 | 2021 年度事業計画案 |
| 報告事項 3 | 2021 年度予算案 |
| 報告事項 4 | 第 25 回学術集会会長について |

<決議事項>

- | | |
|---------|-------------------|
| 第 1 号議案 | 2020 年度収支決算・監査報告 |
| 第 2 号議案 | 2021-2022 年度役員の承認 |

報告事項 1 2020 年度事業報告

1. 総務委員会／総務

- 1) 日本母性看護学会総会の開催
 - ・2020 年度一般社団法人日本母性看護学会総会を非参集型の「書面表決による総会」とし、2020 年 6 月 30 日（火）に開催した。
- 2) 理事会の開催
 - ・通常理事会 4 回（Zoom）、書面理事会を 3 回開催した。
- 3) 会員管理
 - ・会員数は 2021 年 3 月末で 735 名、2020 年度入会者 74 名、退会者 75 名だった。
- 4) 学会に関連する事務業務
 - ・看護系学会等社会保険連合、日本看護系学会協議会、助産師団体連絡会等、関連団体への対応を行った。
- 5) 役員選挙
 - ・「一般社団法人日本母性看護学会評議員選挙・役員選出規定」に基づき、役員選挙に係る選挙管理運営部会設置、選挙により選出する役員の定数を理事会に諮り、協議、決定し、役員選挙を進めた。
- 6) 2021 年度事業計画（案）作成

2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理、入金・支出管理
 - ・事務局より会費入金状況の確認・徴収の報告を受けた。
 - ・支出について、振込依頼を承認し適正な支出であることを確認した。
- 2) 2020 年度決算
 - ・事務局に委託し、法人に必要な会計書類を作成し、決算書を作成した。
 - ・決算書については税理士、および監事の監査を受けた。
- 3) 年会費の検討
 - ・年会費の増額について検討し、継続審議とした。
- 4) 一般社団法人 日本母性看護学会 謝金および講師旅費に関する申し合わせの見直し
 - ・一部修正した
- 5) 2021 年度予算（案）作成
 - ・各分掌理事の計画を取りまとめ、予算案を作成した。

3. 総務委員会／災害対応部会

災害関連の情報を収集するとともに、看護系学会協議会災害活動員会からの情報は、事

務局を通じて理事・監事へ提供を行った。

研究促進部会が新規に、災害ともいえるこの度の新型コロナウイルス感染症に特化した研究助成を開設した。

4. 総務委員会／将来構想部会

1) 課題の整理

- ・類似学会との差別化の必要
- ・「研究者が 1/2 以上」の日本学術会議協力団体の基準に到達していない

2) 方向性の確認

本会の目指す方向は「高度な母性看護実践の学術基盤の確立」と定めた。

3) 方向性に基づく事業の提案と実施

- ・母性看護 CNS の活動の論文化（投稿）促進
- ・修士論文の論文化（投稿）促進
- ・母性看護 CNS の活動支援 ⇒高度実践看護師育成支援部会がメーリングリストの準備、TSUMUGU 会の立ち上げと開催を実施
- ・他の看護学会とのコラボセミナー ⇒学術支援部会が小児看護学会との交渉に着手
- ・子育て世代包括支援センターにおける看護職の実践研究
- ・大学教員の入会促進策
- ・会員のマイページの更新依頼

2020 年度は一部の事業案について開始した。今後は各委員会活動との連携が必要である。

5. 編集委員会

1) 機関誌の編集・発刊

- ・日本母性看護学会誌第 21 巻 1 号 2020 年 10 月 13 日に、第 21 巻第 2 号を 2021 年 3 月 26 日に発刊した。

2) 編集委員会の開催

- ・編集委員会を 8 回（遠隔）開催した。（メール審議 5 回含む）

3) 投稿規程、査読システムおよび電子ジャーナル使用における課題の検討

- ・投稿規程の修正を行った。
- ・あわせて投稿マニュアル、査読ガイドラインなどの修正を行った。

4) 査読委員の依頼

- ・2020 年度までの査読委員に継続依頼および、新規査読委員の依頼を行った。

5) 2021 年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

- 1) ホームページの充実発信する情報の充実
 - ・ホームページを合計 18 回更新した。
 - ・学会案内リーフレットの廃止（ホームページに掲載されていたものを廃止）
 - ・母性看護専門看護師紹介ページ開設のサポート
- 2) ニュースレターによる情報の発信
 - ・ニュースレター21 号の企画・編集・発行
（コロナ禍における臨床と教育の現場活動紹介特集、在宅妊娠糖尿病患者指導管理料の産後拡大の周知、各委員会報告、学術集会報告と次回案内など）
- 3) 効果的な広報活動の検討
 - ・掲載写真を募集したが、適切な写真が集まらず、再度検討することとする。
- 4) 第 22 回日本母性看護学会学術集会ナーシングサイエンスカフェにおける広報
 - ・オンライン開催であったため、実施せず。
- 5) 2021 年度事業計画（案）作成

7. 研究・学術支援委員会／研究促進部会

- 1) 研究助成に関する情報提供
 - ・ホームページを通して、会員が申請できる助成金等の情報を更新した。
- 2) 日本母性看護学会研究助成
 - ・2019 年度研究助成を受けた研究者が提出した会計書類を検査し、適正使用を確認した。
 - ・2020 年度新型コロナウイルス感染症関連研究助成金を新設し、ホームページに募集要項、公募案内を掲載した。
 - ・2020 年度新型コロナウイルス感染症関連研究助成金に対して、3 件の応募があり、選考委員会を発足して選考し、2 件を採択した。
 - ・2021 年度研究助成の応募要領の作成ならびに公募を実施した。
 - ・本制度を会員に周知するため、応募要領を会員に配布するとともに、ホームページに公募の案内を掲載した。
 - ・2021 年度研究助成に対して 3 件の応募があり、選考委員会を発足して選考し、3 件を採択した。
- 3) 2021 年度事業計画（案）作成

8. 研究・学術支援委員会／学術支援部会

- 1) 学術集会の企画・運営支援
 - ・第 22 回および第 23 回の学術集会の企画・運営支援を行った。
- 2) セミナーの企画支援
 - ・2021 年 3 月 13 日（土）第 15 回日本母性看護学会セミナー「周産期の倫理と看護」を以下の内容で Zoom ウェビナー、Live で開催した。登録参加者は会員 35 名、非会

員 10 名で、当日参加者は 42 名であった。参加者にはアドバンス助産師のウィメンズヘルス研修修了書を授与した。

1.SDGs（持続可能な開発目標）の視点から周産期における倫理的課題と看護を理解する

講師 手島 恵（千葉大学大学院看護学研究科）

2.助産ケアにおける看護倫理 一生殖補助医療の受益者と倫理の視点から一

講師 森 恵美（千葉大学大学院看護学研究科）

千葉大学に落雷があったため講演 1 終わりから千葉大学のホスト事務局が停電であったが、学会事務局の後方支援で講演 2 を実施することができた。アンケート回答者は 29 名で「とても学びがあった」「学びがあった」が講演 1 が約 9 割、講演 2 が約 8 割であり、あまり学びがなかった等の評価はなかった。今後の要望としては母性看護に直結するテーマより周辺知識、性暴力政策、助産師に関連する政策、コロナ禍の母子支援、遺伝のつながりのない母子家族支援、グリーフケアがあった。

3) 学術論文賞の選考

・理事による推薦、選考委員会による審査を経て、第 14 回学術論文賞を 2 論文選考した。

表彰は第 22 回学術集会でを行う予定であったが、WEB 開催となり、第 23 回に持ち越された。

5) 2021 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会／ CTG セミナー部会

2020 年度 CTG セミナーは、新型コロナウイルス感染症の流行により開催を中止した。セミナーのあり方について課題があり、2021 年度に検討を継続する。

10. 生涯学習支援委員会／ GDM セミナー部会

1) 学術集会における GDM セミナーの開催：2020 年 6 月 28 日（金）第 22 回日本母性看護学会学術集会において、CLoCMiP®必須研修（フィジカルアセスメント：代謝）に対応する「周産期の糖代謝異常の考え方と対応」の GDM セミナー（90 分）を開催した。コロナ下のため遠隔開催であった。

2) 「糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー」の開催：コロナ下のため急遽遠隔開催に切り替え、第 1 回目 2020 年 10 月 3 日（土）・4 日（日）、第 2 回目 11 月 28 日（土）・29 日（日）と 2 回にわたって開催した。第 1 回目は急遽の広報で周知が行き届かず 11 名の参加に留まったが、第 2 回目は増加し、最終的に会員 23 名、非会員 23 名、計 46 名の参加であった。産婦人科の安日一郎氏の講義（90 分）は例年通り行ったが、CLoCMiP®必須研修（フィジカルアセスメント：代謝）に相当する研修としては、2 日間のセミナー全体として申請している。2020 年度のセミナーでは、母性看護 CNS の活動を支援するためにセミナー担当の CNS の委員に事例紹介をお願いすると共に、

在宅妊娠糖尿病患者指導管理料産後への拡大獲得の成果を周知することも目的としたため、看護政策検討委員会委員に講師を依頼した。

- 3) GDM セミナー担当者の組織化:母性看護専門看護師を中心に担当者 3 名で担当した。
2020 年度のセミナー開催は診療報酬と絡んでいたため、看護政策検討委員会委員に講師を依頼すると共に、開催についても支援を受けた。連絡調整はメール、ZOOM を活用した。

11. 看護政策検討委員会

1) 委員会の開催

委員会は 6 月 28 日（日）10：00～12：00 ZOOM 開催の 1 回で、他はメールで調整を行った。

2) 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動

「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」に産後 1 回の追加が承認されたため、2020 年度はその広報活動を行った。助産雑誌 4 月号特集「妊娠糖尿病～妊娠期から始める女性の健康支援」に「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料が産後に拡大！」の記事を掲載した。また、GDM セミナーにおいて、林委員が講師となり、その経緯と仕組みについて講義を行った。さらに『在宅妊娠糖尿病患者指導管理料』に関する手引き」作成に取り組み、年度末に完成させた。

2022 年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集（新規提案事項に関する探索）を継続して行ったが、年度末時点で新規の提案は行っていない。

3) 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動

看保連委員としての ZOOM 出席可能な会に参加した。

4) 2021 年度事業計画（案）作成

12. 高度実践看護師育成支援委員会

1) 母性看護 CNS の広報

(1) 母性看護 CNS の役割認知の拡大

NL、雑誌・出版物への寄稿

(2) HP 母性看護 CNS ページの充実

(3) 学術集会での発表・企画運営

計画されていた母性看護学会（鼎談）は WEB 開催となったため次年度へ延期、CNS 学会交流集会は、COVID-19 のため中止となった。

(4) CNS 課程進学希望者対象の広報ツール作成

より効果的な広報対象・方法に変更。チラシ作成は本年度は実施しない。

2) 母性看護 CNS の活動支援

(1) ネットワーク構築（母性看護 CNS 間、臨床―教育間）

①TSUMUGU 会 キックオフ会の開催

- ②母性看護 CNS のメーリングリスト開催準備
- (2) 実践・研究活動支援
 - ①母性看護 CNS の論文作成支援体制、資格申請・更新支援体制の構築に向けた準備
(TsumugU 会 キックオフ会での広報)
- (3) 母性看護 CNS を講師とするセミナーへの協力
(GDM セミナー)
- (4) 関連団体との調整
他領域の CNS 支援学会・団体の動向把握、情報収集
- 3) 研究活動
 - (1) 母性看護 CNS の役割・機能、実践活動の分析
- 4) 2021 年度事業計画（案）作成

報告事項 2 2021 年度事業計画案

1. 総務委員会／総務

- 1) 2021 年度一般社団法人日本母性看護学会総会の開催
- 2) 理事会の開催 通常理事会 4 回
 書面理事会 適宜開催
- 3) 会員管理・会員サービス・学会案内（外部委託）
- 4) 学会に関連する事務業務
 委託業者との調整、学会に関連する書類への対応、他団体への対応
- 5) 定款、規程、細則等の整備
- 6) 2022 年度事業計画（案）作成

2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理 入金・支出管理
- 2) 2021 年度決算
- 3) 2022 年度予算案の作成
- 4) 年会費の検討
- 5) 会計申し合わせ、様式の整備
- 6) 2022 年度事業計画（案）作成

3. 総務委員会／災害対応部会

- 1) JANA 災害看護学会連携強化をはかる。
- 2) JANA の災害関連情報を会員に提供する
- 3) 2022 年度事業計画（案）作成

4. 総務委員会／将来構想部会

- 1) 学会活動の方向性の検討
- 2) 他学会との協働に関する検討
- 3) 会員名簿の修正促進
- 4) 会員のニーズ調査
- 5) 2022 年度事業計画（案）作成

5. 編集委員会

- 1) 投稿査読システムおよび査読ガイドラインおよび電子ジャーナルシステムの見直し
- 2) 日本母性看護学会誌の編集・発刊（年 2 回）

第 22 巻第 1 号 2 号発刊（2021 年 9 月，2022 年 3 月発刊予定）

- 3) 編集委員会：年 2 回開催
- 4) 2022 年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

- 1) ホームページの充実、発信する情報の充実
- 2) ニュースレターによる情報の発信
 ニュースレター 22 号の企画・編集・発行
- 3) 効果的な広報活動の検討
- 4) 第 23 回日本母性看護学会学術集会における広報
- 5) 2022 年度事業計画（案）作成

7. 研究・学術支援委員会／研究促進部会

- 1) 研究助成に関する情報提供
 年 2 回、学会ホームページを通じて会員が申請できる助成金などの情報の更新
- 2) 日本母性看護学会研究助成
 - (1) 2020 年度研究助成会計監査
 - (2) 2022 年度研究助成の応募要領の作成・公募の実施
 - (3) 制度について会員への広報
 (応募要領の会員への送付及びホームページへの掲載)
- 3) 2022 年度事業計画（案）作成

8. 研究・学術支援委員会／学術支援部会

- 1) 学術集会の企画・運営支援
 - 第 23 回学術集会長：石井邦子氏（千葉県立保健医療大学）
 - 第 24 回学術集会長：佐々木綾子氏（大阪医科薬科大学）
- 2) セミナーの企画支援
 第 16 回セミナーの開催
- 3) 第 15 回学術論文賞の選考
- 4) 利益相反規程の作成
- 5) 2022 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会／CTG セミナー部会

今年度は、選挙の年であり、新体制が整えられたところで CTG セミナー部会をどのように進めて行くか、検討する。

10. 生涯学習支援委員会／ GDM セミナー部会

- 1) 糖代謝異常妊産褥婦を支援する看護セミナーの開催（遠隔 2 回開催、日程未定）
- 2) GDM セミナー担当者会議 3 回（遠隔開催）
- 3) 2022 年度事業計画（案）作成

11. 生涯学習支援委員会／ WHC セミナー部会

- 1) 母性看護 CNS による WHC セミナーの運営
- 2) 2022 年度事業計画（案）作成

12. 看護政策検討委員会

1. 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動
 - 1) 総会、看護技術検討委員会、あり方検討委員会への看保連委員としての出席
 - 2) 情報交換会への看保連委員としての出席
2. 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動
 - 1) 2024 年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集（新規提案事項に関する探索）
 - (1) 母性看護学会からの提案に向けた要望事項調査（全会員向け、一斉メールを用いた調査）
 - (2) 調査結果から、要望事項として整理し、優先順位をつけて、2022 年度計画に反映
 - 2) 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料産後拡大の広報活動（手引きの更新）、算定後実態調査の検討（母性看護学会の研究助成金獲得を目指す）
 - 3) 上記活動に関する委員会の開催（年 4 回、ZOOM）
3. 2022 年度事業計画（案）作成

13. 高度実践看護師育成支援委員会

- 1) 母性看護 CNS の広報
 - (1) 母性看護 CNS の役割認知の拡大
NL、雑誌・出版物への寄稿
 - (2) HP 母性看護 CNS ページの充実
 - (3) 学術集会での広報
 - ①母性看護学会 鼎談
 - ②CNS 学会
- 2) 母性看護 CNS の活動支援
 - (1) ネットワーク構築
 - ①Tsumugu 会の運営
 - ②母性看護 CNS の ML の運営

- (2) 実践・研究活動支援
 - ①母性看護 CNS の論文作成支援
 - ②母性看護 CNS の資格申請・更新支援
- (3) 関係団体との調整
- 3) 母性看護 CNS による WHC セミナーへの協力
- 4) 研究
 - (1) 母性看護 CNS の活動分析
- 5) 2022 年度事業計画（案）作成

報告事項3 2021年度予算案

単位(円)

科 目	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算(案)
収入の部			
会費収入	5,988,000	6,020,000	5,972,000
当年度会費	5,512,000	5,576,000	5,488,000
過年度会費	336,000	296,000	344,000
入会金	140,000	148,000	140,000
事業収入	7,712,000	9,018,015	7,526,000
学会誌収入	0	0	0
学術集会収入	6,172,000	8,285,015	5,596,000
CTGセミナー	0	0	0
GDMセミナー	1,500,000	700,000	1,500,000
WHCセミナー			400,000
講演会セミナー	40,000	33,000	30,000
雑収入	4,500	137,538	4,500
受取利息	500	30	500
雑収入	0	136,188	0
抄録利用料	4,000	1,320	4,000
収入の部 合計(1)	13,704,500	15,175,553	13,502,500
前年度繰越金(2)	21,518,634	21,518,634	28,942,224
合 計(1)+(2)=(3)	35,223,134	36,694,187	42,444,724

科 目	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算(案)
支出の部			
事業費支出			
編集委員会	695,000	470,071	715,000
広報委員会	160,000	120,560	120,000
研究・学術支援委員会	970,500	643,997	952,137
[研究促進部会]	687,000	499,632	661,137
[学術支援部会]	283,500	144,365	291,000
生涯学習支援委員会	1,370,000	608,618	1,175,100
[CTGセミナー部会]	70,000	0	0
[GDMセミナー部会]	1,300,000	608,618	891,000
[WHCセミナー部会]			284,100
看護政策検討委員会	187,400	0	10,400
高度実践看護師育成支援委員会	355,000	46,610	336,160
総務委員会	115,000	0	85,000
[災害対応部会]	40,000	0	10,000
[将来構想部会]	75,000	0	75,000
学術集会	3,511,440	2,581,273	6,020,450
事業費支出 合計	7,364,340	4,471,129	9,414,247
管理費支出			
総務・渉外・会計	4,241,000	3,280,834	4,080,000
管理費支出 合計	4,241,000	3,280,834	4,080,000
周年記念事業積み立て	150,000	(決算科目としては不使用)	150,000
予備費	1,700,000	(決算科目としては不使用)	500,000
支出の部 合計(4)	13,455,340	7,751,963	14,144,247
当期収支差額(1)-(4)=(5)	249,160	7,423,590	▲ 641,747
次期繰越差額(3)-(4)=(6)	21,767,794	28,942,224	28,300,477

報告事項 4 第 25 回学術集会会長について

第 25 回学術集会会長は以下のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

坂上明子氏（武蔵野大学看護学部）

第1号議案 2020年度収支決算・監査報告

貸借対照表

2021年3月31日現在

単位(円)

科 目	金 額			備 考
1 資産の部				
流動資産				
(現金・預金)				
現金	0			
会計	0			
CTG	0			
当座預金	28,791,192			
郵便振替 (法人口座)	28,791,192			
郵便振替 (旧口座)	0			
普通預金	2,642,961			
ゆうちょ銀行 (会計)	59,185			
ゆうちょ銀行 (編集)	0			
ゆうちょ銀行 (CTG)	2,583,776			
現金・預金 計		31,434,153		
(その他流動資産)				
前払金	500,000			学術集会準備金
未収入金	0			
仮払金	0			
その他流動資産 計		500,000		
流動資産 合計		31,934,153		
固定資産				
(特定資産)				
周年記念事業積立金	300,000			
固定資産 合計		300,000		
資産の部 合計			32,234,153	
2 負債の部				
流動負債				
未払金	411,841			委託費期末精算・学会誌21-2制作費
前受金	2,814,000			前受年会費
預り金	34,088			源泉税
仮受金	32,000			セミナー参加費・会費返金予定額
流動負債 合計		3,291,929		
負債の部 合計			3,291,929	
3 正味財産の部				
正味財産		28,942,224		
(うち、特定資産への充当額)		(300,000)		
(当期正味財産増減額)		(7,423,590)		
負債及び正味財産の部 合計			32,234,153	

2020年度正味財産増減計算書(予算対比)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

単位(円)

科 目	2020年度予算	2020年度決算	差額(予算-決算)	備考
1.経常収益				
会費収入	5,988,000	6,020,000	-32,000	
当年度会費	5,512,000	5,576,000	-64,000	納入率89%
過年度会費	336,000	296,000	40,000	前年度以前の会費回収分
入会金	140,000	148,000	-8,000	74名分
事業収入	7,712,000	9,018,015	-1,306,015	
学術集会収入	6,172,000	8,285,015	-2,113,015	第22回学術集会
GDMセミナー	1,500,000	700,000	800,000	GDMセミナー参加費収入
講演会セミナー	40,000	33,000	7,000	日本母性看護学会セミナー参加費収入
雑収入	4,500	137,538	-133,038	
受取利息	500	30	470	
雑収入	0	136,188	-136,188	研究助成金残金返還
抄録利用料	4,000	1,320	2,680	
経常収益計	13,704,500	15,175,553	-1,471,053	
2.経常費用				
事業費支出				
編集委員会	695,000	470,071	224,929	
広報委員会	160,000	120,560	39,440	
研究・学術支援委員会	970,500	643,997	326,503	
[研究促進部会]	687,000	499,632	187,368	
[学術支援部会]	283,500	144,365	139,135	
生涯学習支援委員会	1,370,000	608,618	761,382	
[CTGセミナー部会]	70,000	0	70,000	セミナー開催なし
[GDMセミナー部会]	1,300,000	608,618	691,382	
看護政策検討委員会	187,400	0	187,400	
高度実践看護師育成支援委員会	355,000	46,610	308,390	
総務委員会	115,000	0	115,000	
[災害対応部会]	40,000	0	40,000	
[将来構想部会]	75,000	0	75,000	
学術集会	3,511,440	2,581,273	930,167	第22回学術集会
事業費支出 合計	7,364,340	4,471,129	2,893,211	
管理費支出				
総務・渉外・会計	4,241,000	3,280,834	960,166	
管理費支出 合計	4,241,000	3,280,834	960,166	
経常費用計	13,455,340	7,751,963	5,703,377	
当期経常増減額	249,160	7,423,590	-7,174,430	
当期正味財産増減額	249,160	7,423,590		
正味財産期首残高	21,518,634	21,518,634		
正味財産期末残高	21,767,794	28,942,224		

監査報告書

一般社団法人 日本母性看護学会
理事長 鈴木 幸子 殿

2021年5月13日
一般社団法人 日本母性看護学会

監事

高橋 真理

(高橋 真理)



監事

山本 あい子

(山本 あい子)



当学会の2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査を行いましたので、以下の通りご報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事及び事務局等と意思疎通を図り、理事会その他の重要な会議に出席し、学会諸事業の情報の収集に努め、2021年5月13日、当学会事務局において会計帳簿及びこれに付随する資料について報告・説明を受けるとともに、内容の確認を行いました。

以上の方法によって、当該年度の決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査いたしました。

2. 監査の結果

2020年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3. 監査意見

今期は新型コロナ禍の逆境にもかかわらず、初のオンライン学術集会の成功やオンライン会議導入による費用削減で740万円ほどの収益が上がっている。これらの収益については、将来構想などの面から会員サービスの利便向上、会員向け事業の拡充等、活用計画や基金財源化等について具体的に検討、施策実施がなされることが望ましい。

以上

第 2 号議案 2021-2022 年度役員の承認

■理事

氏名	所属先
浅野 浩子	山梨大学大学院
新井 陽子	北里大学
石井 邦子	千葉県立保健医療大学
遠藤 俊子	関西国際大学
大月 恵理子	順天堂大学
大平 光子	広島大学
香取 洋子	北里大学
北川 良子	千葉県立保健医療大学
工藤 美子	兵庫県立大学
齋藤 いずみ	神戸大学大学院
坂上 明子	武蔵野大学
佐々木 綾子	大阪医科薬科大学
長坂 桂子	NTT 東日本関東病院
中村 康香	東北大学大学院
成田 伸	自治医科大学
福島 裕子	岩手県立大学
松原 まなみ	関西国際大学
森 恵美	千葉大学大学院
吉沢 豊予子	東北大学大学院

■監事

氏名	所属先
島袋 香子	北里大学
高橋 真理	文京学院大学

(五十音順)